

感染制御部

曜日	内容	担当	集合時間	集合場所
月				
火				
水	ICUカンファレンス 感染症・ワクチン、抗菌薬の講義、ディスカッション 昼食 回診・症例提示 感染症診断講義・感染対策実習	中嶋・植田 中嶋 中嶋・植田 中嶋	8:55 10:00 14:00 15:30	急性医療総合センター・ICU前 1号館5階・感染制御部 1号館5階・感染制御部 1号館5階・感染制御部
木				
金				

◎ 診療科名： 感染制御部

◎ 責任者氏名： 中嶋 一彦 准教授

◎ 指導教員氏名： 中嶋 一彦 准教授

### ◎ 実習概要

1.ICUでの抗菌薬カンファレンス、2.病棟回診、3.クルズス、4.感染制御の実際の見学、5.グラム染色、培養検査データ、血液検査データ、画像所見の読み方、抗菌薬選択の実際のディスカッションなどを行い、感染症領域において的確な診断と治療方針の理解と立案を目指す。

### ◎ 各診療科における到達すべき学修成果（アウトカム）

（臨床実習の授業概要「到達目標（アウトカム）」に準拠する）

- 感染性疾患を有する患者の病態について理解している。
- グラム染色により予測される病原菌を想定できる。
- 想定される感染症に応じた検査の選択ができる。
- 感染症に関連する基本的な検査データを正しく解釈できる。
- 抗菌薬のTDMの原理と利用方法、目標値を理解している。
- 病態、原因菌、抗菌薬の特性に応じた抗菌薬選択ができる。
- 微生物に応じた伝播様式と、感染対策を行うことができる。

### ◎ 準備学修ならびに事後学修に要する時間

- 耐性菌、抗菌薬の種類、特性について講義テキスト、成書を読んてくること。  
（1日程度）

## ◎ 評価方法

知識、態度（積極性）、コミュニケーション、病態の把握、EBM（文献に基づいた考察）について評価。

評価基準をループリックで明示。

### 【知識★】

点数	基準
5	感染症の病態、検査、治療を十分に理解し、診断治療までの方策を自分で正しく立案することができる。
4	感染症の病態、検査、治療を概ね理解し、診断治療までの方策を自分で立案することができるが、修正などが必要である。
3	感染症の病態、検査、治療について最低限の理解が得られている。
2	感染症の病態、検査、治療について理解が不十分であり、実臨床でも錯誤を来すおそれがある。
1	病態、検査法、治療に関して知識を理解できていない。

### 【態度（積極性）★】

点数	基準
5	自ら質問や疑問点を見だし、それらに対し積極的な問題解決を行っている。
4	提示された疑問点や質問に対しては積極的な問題解決を行っている。
3	受け身的な学習態度であり、質問や疑問点にも積極的な問題解決を行わない。
2	受け身的な学習態度であり、疑問点への発言もない。
1	居眠りや、遅刻、質問へ返答しないなど学習への取り組み態度が不良である。

### 【コミュニケーション★】

点数	基準
5	教員、医療スタッフ、患者へ信頼される言動を積極的に行い、良好なコミュニケーションを取ることができる。
4	教員、医療スタッフ、患者などと良好なコミュニケーションを取ることができる。
3	教員、医療スタッフ、患者へ暴言など不適切な言動はみられず、通常のコミュニケーションを取ることができる。
2	教員、医療スタッフ、患者へ暴言など不適切な言動はみられないが、コミュニケーションを取ることができない。
1	教員、医療スタッフ、患者へ暴言や不適切な言動がある。

## 【病態の把握】

点数	基準
5	レポートにて担当症例の病態について正しく把握していることが示されている。
4	レポートにて担当症例の病態について概ね正しく把握しているが、一部補足、修正が必要である。
3	レポートにて担当症例の病態について概ね把握しているが、補足、修正が必要である。
2	レポートにて担当症例の病態について誤って把握しており、大幅な補足、修正が必要である。
1	レポートの提出がない、またはレポートにて担当症例の病態について把握している記載がなされていない。

## 【EBM（文献に基づいた考察）】

点数	基準
5	レポートにて担当症例の病態などに適切かつ十分な文献を用いて考察を行っている。
4	レポートにて担当症例の病態などに概ね適切な文献を用いて考察を行っているが、一部補足が必要である。
3	レポートにて担当症例の病態などに十分ではないが文献を用いて考察を行っている。
2	レポートにて担当症例の病態などの不適切な文献的考察を行っている。
1	レポートの提出がない、または担当症例の病態などに文献的考察がない。

## ◎ 中間評価とフィードバック

実施しない。

## ◎ 注意事項

- ・ 8時55分に急性医療総合センター3階ICU前に集合すること。（時間厳守）
- ・ 全実習期間を通じ察式アルコール手指消毒薬を持ち、適切な場面でアルコール消毒を行うこと。
- ・ レポートは手書きにて作成し、提出は実習終了後1週間以内に1号館5階感染制御部に提出すること。レポートは担当症例における感染症の病態、治療法などについて成書、ガイドライン、文献を参考にして作成すること。